

博士前期課程(修士) / 健康看護学領域 / 共通科目
目コード:200010

特別研究(成人看護学分野) Special Research

担当教員	紺家 千津子、峰松 健夫、臺 美佐子、今井 美和、平居 貴生、大貝 和裕、長谷川 陽子				
実務経験					
開講年次	2年次通年	単位数	6	授業形態	講義・演習
必修・選択	必修	時間数	135		
該当 degree 属性	(1)	◎	(2)	○	(3)
Keywords	看護理工学、社会実装、文献検討、研究計画書、論文作成				
学習目的・目標	<p><学習目的> 研究者としての基礎能力を修得するために、修士論文の研究活動を通して看護研究に必要となる考え方や手法を学ぶ。</p> <p><学習目標></p> <ol style="list-style-type: none">1. 問題意識や関心のある現象に関し系統的な文献レビュー等を行い、その現象についての知識や経験を整理し、研究課題を明確化することができる。2. 研究課題に合った研究デザインを組み、系統的で論理的な方法を用い研究を進めることができる。3. 図表等を用い、研究結果をわかりやすく記述することができる。4. 研究データを読み取り解釈することができる。5. 研究結果の意味や意義について、得られたデータや先行研究との比較等を通して論理的に考察し、結論に結び付けることができる。6. 研究の限界や課題を述べることができる。7. 研究における倫理的な問題について理解し、適切な配慮をすることができる。8. 論文を明快かつ論理的に記述することができる。				
授業計画・内容					
回	内容	授業方法	担当		
	<p>研究課題の設定から修士論文作成に至るまでの以下の研究活動の局面において、指導教員が定期的にグループや個別に指導する。 また、論文の質的向上がはかれるよう学生相互の討論の場を設ける。</p> <ol style="list-style-type: none">1) 臨床課題から文献レビューを進めながらブレインストーミングを行う2) 研究課題を見出す3) 研究計画を立てる4) 調査用紙作成・インタビュー訓練等のデータ収集の事前準備をする5) データ収集を進める6) データを読み、整理しまとめる7) 分析を行う8) 分析結果を読み、解釈する9) 考察のストーリーや結論について考える10) 論文執筆11) プレゼンテーションの準備12) 論文投稿準備	個別指導 グループ指導	紺家 峰松 臺 今井 平居 大貝 長谷川		
教科書	なし				
参考図書等	適宜紹介する				
評価方法・基準	修士論文の完成度 100%				
関連科目	成人看護学特論、看護イノベーション特論、ビジュアル看護実践論、ビジュアル看護社会実装演習など				
教員から学生へのメッセージ	新たな知見を得たときの喜びや感動を一緒に体験しましょう。				